

防災活動記録

1. 訓練会場と園からの要請

三鷹市山中保育園の教室と園庭を使用。
今年度より三鷹市からの指示で水防訓練実施が必要となり、多摩ブロックが依頼を受け指導した。
三鷹市内の保育園指導として3例目。



【 座学:水防災害と危機意識 】

2. 活動内容

◆1月19日 保育園対象に水防訓練を開催

講師:多摩ブロック副代表 板野
場所:三鷹市山中保育園
受講:保育士 12名

◆訓練内容

イ. 保育園と取り巻く環境

<認識しよう周囲の環境と災害想定>

- ★ 災害に対する危機感を持つ
- ★ 地図上で災害想定と行動阻害要因
- ★ 自助・共助・公助・近所について
- ★ 園の防災対策と認知度
- ★ 園の指揮命令、統制を再確認
- ★ 三鷹市の防災対策を知る



【 体験:砂場で土嚢作り 】

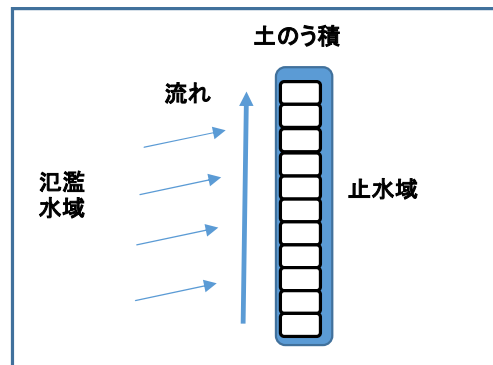
<増水時の行動を考える>

- ★ 気象予報で早めに行動
- ★ 大雨による洪水、浸水の対応
- ★ 避難する際に留意するポイント

ロ. 実動訓練

<土のう積を経験する>

- ◆ 砂詰め土のうの作り方
- ◆ いろいろな土のうの積み方
 - ①土のうだけで積む
 - ②園庭にある備品も活用
 - ③ブルーシート併用の利点
- ◆ 最近の土のう紹介
 - ①砂が使えない時の水防方法
 - ②水で膨潤する『緊急・簡易土のう』
実物で扱い方と取扱い留意点



3. まとめ

今回訪問の保育園は3歳未満の幼児・乳幼児を預かる施設から、災害時の対応も留意すべき点が多く。
避難訓練も一般的な避難の方法ではなく、園児の安全を如何に確保するか、備蓄品もミルクが必要な事から滅菌、保温を考慮、オムツの在庫、管理、保温対応など多岐にわたる事を再度認識いただき、災害時の行動見直しの場となった。



【 体験:土嚢の積み方と簡易土嚢紹介 】

受講者は他の保育園と同様に土嚢に触れることもなく全員で体験。一言で『土嚢を作って水を止めれば』と言うが、実際には多くの土嚢が必要となり作成に時間も掛かり大変な事を体験していただいた。園長からは『次回も指導をお願いしたい』、他の先生からは『他の事も教えて欲しい』と申出があった。以上